



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者 島 和久

vol. 263

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 11月25日(水)
連合徳島第27回定期大会(阿波観光ホテル)
- ◎ 11月28日(土)
2015男女平等参画フォーラム(阿波観光ホテル)
- ◎ 12月10日(木)
2016春季生活闘争発足総会(阿波観光ホテル)

「西部地域協議会女性委員会」発足総会 3地協すべて女性委員会設立

— 高井県議が記念講演 —



各構成組織・地協から32人が参加

10月31日、三好教育センターにおいて32人参加のもと西部地協女性委員会発足総会が開催された。来賓として、島連合徳島事務局長、下連合徳島女性委員長、天羽三好市議会議員、川西中央地協事務局長がそれぞれお祝いと激励の挨拶をした。議長には三好市職労組

の乳久保代議員が選出され、委員長には山本茂美さん、事務局長には逢坂陽光さん、その他委員7名が満場一致で選出された。山本委員長から「西部の方からも女性パワーを発揮し地協運動さらには連合運動を盛り上げていきたい」と決意表明し団結がばらうで閉会した。

続いて、記念講演として高井美穂県議会議員の「政治と女性」と題して、ご自身の政治生活について国政は1勝4敗「選挙は絶望と感動の繰り返し」と仙谷語録を交えて報告した。子育てや介護も経験し、まわりの多くのおみなさんに助けら



連合徳島 3地協 合同運動会を開催

健康促進・親睦交流を深めた

選手宣誓のいっせい君とふうかちゃん

日頃のストレスを発散し、健康増進を図り、構成組織間、家族や組合員同士の交流を深める目的で、10月25日、吉野川河川敷で連合徳島・3地協合同秋の大運動会を開催し、連合徳島組合員らその家族約350人が参加した。晴天に恵まれたが北の風が少し強く、砂塵が舞っていた。



高井美穂県議が記念講演

冒頭、連合徳島森本会長のあいさつ後、いっせい君とふうかちゃんの選手宣誓で競技が始まった。運動会はパン食い競走や玉入れ、防災グッズ探し、綱引きなど、大人や子どもが共に楽しむ競技を中心に構成され、参加者の笑顔が

あふれ、協力し合って競技に参加した。競技の最後はチーム対抗リレー、大人も子どもに負けずに必死で頑張った。

運動会の最後には、連合徳島や3地協、福祉団体などから賞品提供された大抽選会も行い、参加者は抽選箱の周りに集まり、期待一



組合員やその家族で楽しんだ運動会・抽選会



「ディーセントワーク」実現に向けてアピールする森本会長

「ディーセントワーク」実現に向けてアピールする森本会長

れ今があると実感している。会場から「今後の目標は？」の質問に対して「国政を経験して、地域から出直している色々な事が見えてきた。県議としてこの三好地域のため精一杯尽くしていきたい。女性議員が一人なのでもっと仲間を増やしていきたい。女性議員が増えれば議会も変わる」と返答した。国においても女性議員が少ないことをあげ、安倍政権が声高に女性活躍推進法を言っても現実とのギャップが余りにも大きすぎる。「働く女性の力を結集し、安心して暮らせて、そして働き続けられる社会を共に創りましょう」と締めくくった。

冒頭、森本会長から「昨日連合本部第14回定期大会が開催され、確認された運動方針には、すべての働く人にディーセントワークを実現するため、連合を含む162の国と地域の約1億7600万人労働者が結集する国際労働組合総連合(ILO)は、公正なグローバル化を通じた持続可



県民にビラとティッシュを配布

ディーセントワーク実現の必要性、労働者保護ルール改善阻止、安否法制反対、労働者の権利や労働組合の果たす役割について述べ、「ディーセント・ワーク/働きがいのある人間らしい仕事」の実現に向けてアピールした。

ディーセントワーク 全国一斉行動

働きがいのある人間らしい仕事の実現求め 徳島駅前で大規模行動

連合徳島は10月8日、JR徳島駅前で、各構成組織から約50人が参加し街頭宣伝・ビラ配りを行った。

能な社会をめざして、毎年10月7日を「ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)世界行動デー」と定め、世界中で一斉行動を呼びかけている。しかしながら我が国の現状は、ディーセントワークが確立され定着しているとは言いがたく、今後、より一層の理解と浸透が図られる必要がある。また、徳島県の地域最低賃金について、労働者委員から都市部との格差が広がることのないよう要求したが使用者委員との意見の隔たりが大きく、公益者委員から示された目安額16円プラス695円での結審となった。」と報告した。続いて、中小労働対策本部宮本議長、連合徳島女性委員会小川副委員長、連合徳島議員ネットワーク代表庄野県議からディーセ

～トップが決意を持って、長時間労働の削減に向けた取組を推進しましょう。～

11月は「過重労働解消キャンペーン」期間です。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

力合わせ・連合の東日本大震災救援活動

— ボランティアサポートチーム養成講座 —

14人に修了証書交付

10月24日ボランティア養成第6講座を開催した。講師として連合本部山根木総局長を招き、連合の災害救援活動、と題して講演を受けた。(講演内容要旨)

2011年東日本大震災発生時に連合救援活動に陣頭指揮をとり、のべ35000人を超えるボランティアを送り出した。連合の役割は「ボランティアと被災地」「ボランティアと必要な役割」「思いと思い」をつなぐことである。被災地において、連合はコンスタントにボランティアを出すが、なかなかおかつ統制がとれていないところが素晴らしいと認められた。連合は何をするにも行動まで2ヶ月かかると言われていたが、3・11からわずか20日で3月31日には第一団を出発させることができた。



連合山根木総局長が講演

た。連合救援ボランティアの意義は①組合員以外のために汗をかいたこと②連合の旗のもとすべての参加者が「力合わせ」をしたこと③自治体・社協・地域と連帯できたこと。最後に東北を忘れない、災害は忘れた頃にやってくるので常に準備しておくことと強調し講演を締めくくった。

引き続き修了式を行い、森本会長から「労働組合として連帯・共同・絆」とい



14人に修了証書交付

つたとてもいい話が聞けた。いつ災害がおきても対応出来るように、常に準備をしておき、この講座を通じてスキルアップしたことを活かせるようにしてほしい」とまとめのあいさつをし、4講座以上受けた14名に修了証書を交付した。

狭山事件の再審を求める

再審開始へ世論喚起が大切

県内集会 市民集会



狭山事件の再審を求める森本共闘議長があいさつ

10月28日労働福祉会館別館5Fホールで約150名が集まり、狭山県内集会在開催された。主催者を代表して森本共闘会議議長より「今日の新聞報道にもある20年前大阪であった女児死亡火災で元被告の母親らの再審開始も認められた。石川さんも一刻も早く再審されるよう共闘会議は一丸となって運動を展開していく」とあいさつした。部落解放同盟から中副委員長、民主党から仁木代表、社民党から前川代表がそれぞれ連帯あいさつした。

つづいて、「狭山事件を考える徳島の会」代表の木村弁護士から「狭山事件を取り巻く情勢と課題」と題して講演。東京高裁・東京高検・弁護団の3者協議が25回にもわたって行われたことを説明し、「警察や検

察は見込み捜査で犯人を特定させ都合の悪い証拠は隠すことがある。先ほど森本議長も言われた大阪の事件で、子どもを放火して殺す親がどこにあるか。この狭山事件についても同じで証拠開示を徹底させ再審開始を獲得するため世論喚起が非常に大切である。」と語られた。

青年共闘から石川さんのメッセージも披露され、シユプレヒコールと合唱、最後に森本議長の団結がんばろうで参加者全員の意思統一を確認し閉会した。

10月30日、日比谷野外音楽堂に全国から約2000人参加のもと、不当有罪判決から41年！今こそ事実調べ・再審開始を！をスロガンに狭山事件再審を求める市民集会が開催された。はじめに、組坂部落解放同盟中央執行委員長より開

会のあいさつがあり、政党より民主党小川参議院議員、社民党福島参議院議員があいさつした。続いて石川一雄・早智子夫妻が「もう自分には余り時間が無い。第3次再審で無実の決着を図りたい」と述べ支援を訴えた。弁護団は、検察側は石川さんの自白を裏付けるポリグラフに関する証拠を開示したと報告した。植村裁判長は検察側に対して「物的証拠物については基本的に開示してほしい」と話した。連帯アピールは足利事件の菅家さん、布川事件の桜井さん、袴田事件の袴田秀子さんがそれぞれ切実に訴えた。アピール採択後、日比谷公園から東京駅近くの常盤橋公園までデモ行進し、徳島からの参加者16名は板東共闘会議事務局長の団結がんばろうで解散した。

反差別研修 広島県・福山市の解放運動学習

ホロコースト記念館も見学

日・17日の2日間広島県福山市で行われ16人が参加した。

1日目は、福山市人権平和資料館に行き、広島原爆のわづか2日後福山大空襲があった事実を知った。爆心地からそんなに遠く離れていないこの福山に。しかも投下された焼夷弾は民家を燃やし逃げ惑い焼け出された人々は本当に悲惨な状況であったと館長より説明を受けた。展示会場の中央に亡くなった子どもを抱きつらく苦しい表情の母親像が建っている。「戦争とは人権をなくす」と館長が語られた。

続いて行政の立場から、福山市まちづくり推進部人

権推進課長より、福山市の人権施策基本方針や登録型本人通知制度について詳しい説明を受けた。

2日目は、三吉コミュニティセンターに行き、福山市協議会三吉支部の小山支部長より、広島県の解放運動の始まりから福山市三吉支部の結成から今日に至るまで、広島県全体の部落解放運動を牽引し今もその歴史を引き継いで活動している状況を説明していただいた。

その後は、ホロコースト記念館に行きアンネフランクの生涯と150万人もの犠牲となったホロコーストの歴史について学んだ。

なお、詳細報告については、来年2月4日に開催される地研集会にて国保連合会の滝口広樹さんが報告する予定となっている。



各団体から16人が参加



ホロコースト記念館見学

県民と働く者の徳島フェスタ2015 開催日程

日 程	イベント名称	開催場所
10/23 (金) 8:30~18:00	たんけんの秋	勝浦郡上勝町 他
10/31 (土)	10:00~10:30 県民と働く者のとくしまフェスタ2015 開会式典	ヒューマンわーくびあ徳島
	10:30~15:00 第8回わーくびあフェスタ (第34回福祉まつり)	ヒューマンわーくびあ徳島
11/14 (土) 10:30~	果樹オーナー in 佐那河内 (クワイ収穫体験祭り)	佐那河内村果樹園 (詳細P7)
11/15 (日) 8:00~18:00	ゆとり・癒しのウォーキング ~紅葉と温泉の祖谷渓谷~	祖谷渓谷展望台 ~西祖谷ふれあい公園
11/23 (月) 10:00~12:00	第20回自然とふれあ健康ウォーク	美波町竜宮公園 (日和佐総合体育館)
11/24 (火) 13:30~16:30	第23回労働者福祉メーデー	
12/ 5 (土) 10:30~14:30	あい♥あいファミサポフェスティバル2015	アスティとくしま多目的ホール
	全労済徳島県本部 スマイルイベント2015	
2016年 3/20 (日) 10:30~16:00	2016ファミリー・ふれあい・フェスティバル	あすたむらんど徳島

毎月第1金曜日は徳島若者交流の日~とくしま遊ばんDay!

11月15日(日)は家族の日

11月8日(日)から21日(土)は家族の週間

毎週水曜日はノー残業デー